

森林とともに ある暮らし

まことさんの場合

今号の「緑のエッセー」に登場して頂いたまことさんが、富士山麓に木造にこだわって建てたお宅にお伺いして、まことさんと奥様の富永美樹さんに、森林とともにある暮らしについてお話しして頂きました。

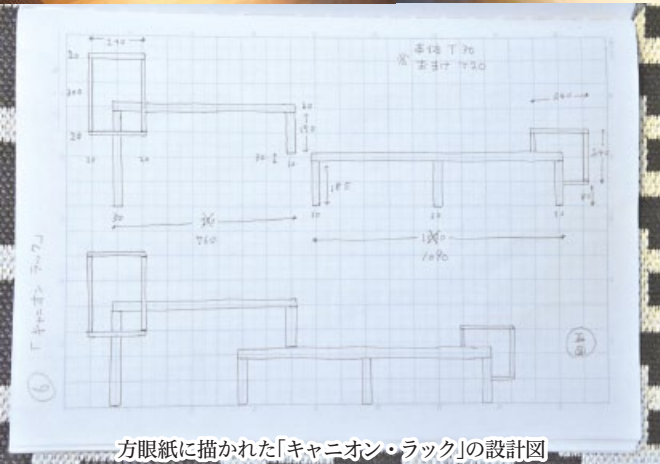


南アルプスの山々をイメージした屋根やバルコニー・ウッドデッキが特徴の家は、まことさんと自身の設計によるもの(上:庭側、下:玄関側)



まことさんの設計によるオーディオの棚「キャニオン・ラック」

1階リビングルーム



方眼紙に描かれた「キャニオン・ラック」の設計図



まことさんと奥様でフリーアナウンサー・タレントの富永美樹さん

「森林へ帰る」生活

ま 新婚旅行で行ったハワイ、それに続いて訪れたアメリカの国立公園などで自分たちも自然の一部だということに気づきました。

それからは森林のなかにいると落ち着きます。富士山麓の家は、別荘という感じではなく、オフに自分が本来いるべき場所に帰るといった感覚です。もしかしら、都内の家が仕事用の別荘かもしれません。

富 都内で仕事をしていても、山に家があれば帰ってくつろぐことができます。

天井を見上げて、木が見えると落ち着きます。木があるから、家の中のモルタルや金属も暖かみを帯びてくるのだと思います。

ま 都市で仕事をしていると、どこか都市以外の場所に帰るところが欲しくなるんです。私は職業柄、オンとオフの差をつけやすかったのですが、オフに山や森林のなかで暮らすことは、やろうと思えば誰でもできるのではないかと思います。

まことさん
富永美樹さん

部屋をつなぐ通路には緩い傾斜がつけられている(2階)



小部屋に隣接した寝室(2階)



階段を登った先にある茶室風の小部屋(2階)



1階リビングから2階への階段



2階と勝手口をつなぐ階段脇の壁に設けられたボルダリング用の設備



数学好きのまことさんがπ(パイ)をイメージして設計したデスク(2階寝室)



「山小屋」がテーマ

この家のテーマは「山小屋」です。

2階への階段は急で、トレッキングをしているような感じ。階段を登ってすぐの部屋は天井が低くて洞窟のような作りで、油断をすると頭をぶつけてしまう危険があるテントやキャンピングカーの中にいるような印象のデザインにしてあります。

家具を含めて、南アルプスの地形を思わせる形で、掃除がしやすいギリギリの設計になっています。計算しながら、計算なんかしていない雰囲気を出すのに苦労しました。

この家はまるでアンチ・バリアフリー。

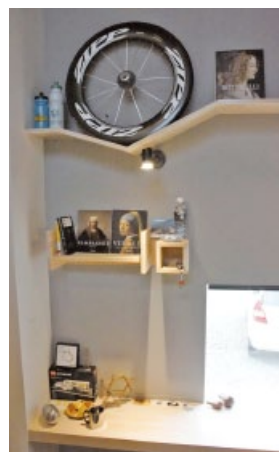
段差や傾斜があることで、家の中にも常に体を動かしている感覚があります。バリアフリー構造は、いずれ必要な年齢になったときに改めて考えればいいかなと思っています。

広い家にいると寂しかったり、空虚な感じがしてしまうことがあります。この家には都内の家にあるものは一切作らず、狭くて落ち着くスペースにしました。

山小屋や船室の雰囲気
庭に設けた「四阿」兼「新棚」兼「葡萄棚」



自転車のホイールを収める棚は屋根の「アルパイン・ルーフ」を小さくした形で、音楽でいうリフレインをイメージしたもの(1階勝手口)



室内に設置された薪ストーブと軒先に設けられたバーベキュー炉



既存のイメージにこだわらない木づかいを

血液の中にも鉄分があるんだから、鉄だって天然のもの。木が天然で鉄が人工のものという考え方にこだわらなければならないと思います。

木以外の素材も使いながら、木の良いとこをひきたてるのが、本当に木を大切にしていくことに繋がるのではないのでしょうか。

木には、既存のイメージ以外の使い方がきつとあります。

同じ木でもデザインやセンス次第で、全く新しい素材になるはず。これからの新しい木づかいを楽しんでいきたいと思えます。

富士山麓の家を建てた職人

ほりうちよしお 堀内良雄さん



1軒の家を1年がかりで建てています。この家で苦心したのは複雑な形をした「アルパイン・ルーフ」の屋根裏。きちんと組み合わせるために緻密な作業が要求されました。また、リビング等の内壁は、厚さ36mmの積層材を12mmにスライスし、滝のように木口(こぐち)を見せる工夫をしています。

これからも地域材をはじめとする木と、メンテナンスの容易なサッシ等を組み合わせ、従来の木造のイメージを超えた、デザインの自由度が高く、メンテナンスフリーな家づくりを目指していきます。



堀内さんが最も苦労したという屋根裏。



滝をイメージした、こだわりの壁面(1階リビング)

エコライフ・フェア2014

6月7日~8日に都内代々木公園で開催された「エコライフ・フェア2014」に、まことさんはフォレスト・サポーターズとして参加。ステージ・プログラム「森のトークショー」では、参加者に気軽にはじめられる「森とともにある暮らし」を紹介しました。



森のトークショー



会場内の「フォレスト・ゾーン」にて